2020 年 7 月以降 亀岡市立病院人間ドック受診されるすべての方:「人間ドック・健康診断における新たなバイオマーカー探索研究：HOZUGAWA study」の対象となる方へ

「高齢者糖尿病における効果的な栄養療法によるサルコペニア予防戦略の質向上に資するエビデンス創出研究－高齢者糖尿病におけるサルコペニア発症･進展予防のための至適栄養状態の解明に関する観察研究－（倫理・利益相反委員会受付番号No.1944）」に関する調査へのご協力のお願い

亀岡市立病院では、2020 年 7 月以降に人間ドックを受診された方を対象に、「HOZUGAWA Study」という研究を実施し、健康診断結果などの情報を用いた調査を行ってきました（本研究は、倫理審査委員会承認のもと、オプトアウト方式で実施済み）。

このたび、新たに「高齢者糖尿病における効果的な栄養療法によるサルコペニア予防戦略の質向上に資するエビデンス創出研究－高齢者糖尿病におけるサルコペニア発症･進展予防のための至適栄養状態の解明に関する観察研究－」を実施することになりました。本研究は、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターが代表機関となり、京都府立医科大学をはじめとする複数の医療機関との共同研究として行われます。

【研究の目的】

この研究では、糖尿病を持つ高齢者の方の食事の内容（エネルギー量、たんぱく質・脂質・炭水化物のバランスなど）と、筋肉の健康状態（筋肉の量・質・力・動きやすさ）との関係を明らかにすることを目指しています。

【研究の概要】

この研究では、すでに実施されたHOZUGAWA Studyにご参加いただいた皆さまのデータを、ヒストリカルコントロール（比較対象群）として利用させていただきます。使用するデータは、個人が特定されないよう適切に処理されており、プライバシー保護には十分配慮しております。

【対象となる方】

2020 年 7 月以降に亀岡市立病院で人間ドックを受診し、HOZUGAWA Studyにご参加された方（オプトアウト形式のため、参加拒否をされなかった全ての方）

【利用・提供する情報の項目】

問診項目（既往歴、家族歴、生活歴、内服薬など）
身体組成（身長、体重、腹囲、体脂肪率、筋肉量など）
血液検査結果（糖代謝指標、脂質代謝指標、肝機能指標、腎機能指標など）
メタボライト（生体内で生成される代謝物質）
※上記項目を他の研究機関に提供します。その場合でも、あなたの氏名や病状などに関する情報を含め、個人情報を厳重に守ります。

【情報の利用および提供開始予定日】

2025 年 9 月 4 日

【提供を行う機関の名称と機関の長の氏名】

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・理事長　荒井 秀典
国立病院機構京都医療センター・病院長　川端　浩

【代表研究機関、研究代表者】

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター　浅原哲子

本研究は、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

なお、本研究へのデータ利用を希望されない方は、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡をいただいた場合には、その方のデータは本研究には使用いたしません。

連絡先：京都府立医科大学　内分泌・糖尿病・代謝内科
電話：075-251-5505（担当；濵口真英）